

資料③「あいづち表現」で接続を図ろう（実践編）



学習指導要領の「話すこと」の小中の目標における共通点、相違点を理解し、環境づくりや授業づくりにおいて、どのような指導や工夫をしているか、パートナー校間で情報交流しましょう。

中学校の先生が小学校での学習の様子を参観し、興味深いと感じた点について聞くことによって、小学校段階で子どもの困りがどこにあるのか、その困りを解決するために、どんな工夫をしているのかを知ることができます。小学校で行った言語活動を踏まえて、中学校でも子どもが継続して取り組みそうなことを小・中の先生方が一緒に考えることも意義があります。

小学校の先生から…



- ・授業の初めは毎回チャンツや歌を通して、英語の音に慣れるようにしています。
- ・単元の初めのうちから、自分の思いや考えなどを「その場」で考えて伝える Small Talk の積み重ねを大切にしています。

- ・相手と円滑なコミュニケーションを図ることができるよう、**Picture Dictionary**「こんなときどういうの? ① ②」あいづち表現を、使うよう促しています。表現をポスターにして外国語活動用の教室に掲示しています。

- ・伝えたいことが英語でうまく表現できないなど、子どもが困ったことについて、「**中間交流**」の場面を設け、**困りを全体で共有して、よりよい伝え方や表現について確認し、その方法を言語活動で再び試す学習**をしています。

中学校の先生から…



- ・どんなチャンツや歌を歌っていますか？毎年入学してくる子どもの変化を感じています。小学校での子どもの様子はでどうですか。

- ・中学校では、会話を自然に続けたり、話題を広げたりするために、あいづちを打ったり、相手の話す内容に対して質問したり、情報を付け加えたりできるコミュニケーション力の育成を目指していますが、なかなか難しいですね。しかし、Picture Dictionary の単語やあいづち例を中学校でも使うと、即興で伝え合う際、役に立ちそうですね。小学校で十分に慣れ親しんだあいづちの表現を中学校でも使えるよう、ALT との対話でモデルを示してから言語活動に入るようにしてみます。

- ・「中間交流」の場面で、どのようなことについて子どもと共有したり、振り返ったりしているのか知りたいです。子どもが伝えたいけれど分からない言葉は、どのように指導しているのですか。

小学校で学習したあいづち表現（赤字部分）は、中学校でも円滑なコミュニケーションを図るため、使えそうですね。

【小学5年生】

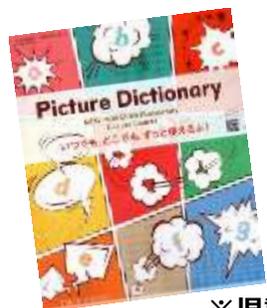
T : What subject do you like ?
C : I like math.
T : **Oh!** You like math. **Me too.**

【小学6年生】

T : What did you eat this morning ?
C : I ate rice ball.
T : **Sounds delicious!** Please talk with your partner.
C1: What did you eat?
C2: I ate bread. **How about you?**
C1: I ate rice. C2: **Nice!**

【中学1年生】 友達の好きな動物を聞こう！

S1 (生徒1) : What animals do you like?
S2 (生徒2) : I like rabbits.
S1: **Oh, really? Me too!**
S2: Oh, do you have a rabbit?
S1: No, I don't. But I love rabbits.
S2: Good! My rabbit is so cute!
Her name is Usako.



※児童用 Picture Dictionary